

■備忘録■

独島は朝鮮固有の領土

朝鮮社会科学学院歴史研究所

独島の領有権問題に関して、朝鮮社会科学学院歴史研究所は三月二十六日、独島が朝鮮の固有の領土であることを歴史的史料、事実に基づき論証した「備忘録」を発表した。要旨を紹介する。

(編集部)

独島を初めて発見して国土に編入させた国は朝鮮であり、近代の法的要求に即して独島領有を再確認し、それを内外に宣布した最初の国家も他ならぬ朝鮮である。

六世紀初、朝鮮東海の鬱陵島には朝鮮人が立てた于山国という国があったが、この于山国は五十二年(新羅智證王十三年)に可瑟羅州君主であった異斯夫によって新羅に平和的に帰属した。

『世宗実録』地理志では、「于山、武陵両島は……新羅時代

に于山国と称した」と記し、一九世紀初に編纂された『萬機要覽』では「輿地誌に記されているように、鬱陵、于山はすべて于山国の地であって、于山は倭人の言う松島(独島)である」と明記した。

李朝政府は一九〇〇年、鬱陵島を鬱島郡に昇格させ、その管轄地域に独島(右島)を含ませた。

于山島(独島)と鬱陵島を領域とする于山国が新羅によって統合されたことにより、国際法上、領土取得の基本原則の一つである「無主地先占」が五十二年、当時の朝鮮によって成されるようになった。

独島は五十二年に新羅に領土編入されて以来、一瞬たりともその領有権が放棄された時はなく、朝鮮の不可分の領土として歴代のわが国政府によって管轄された。

李朝政府は、このような伝統に基づいて当時の近代的国際

法の要求に即して独島の領有権を再確認するた

め一九〇〇年一月二十五日、勅令第四一号を公布して独島に対する領有権を再三、明白に宣布した。

日本が朝鮮の独島領有権を認めない決定的な資料は、「竹島とその他の一島」、すなわち鬱陵島と独島の朝鮮領有を認めた一六九六年一月の幕府決定と一八七七年三月の太政官指令文書である。

一八七七年に



1785年に日本の著名な学者である林子平が記した「三國通覽図説」に描かれている独島と鬱陵島(丸で囲んだ部分)。この地図で林子平は鬱陵島と独島を朝鮮の領土を示す色である黄色で描き、その横には「朝鮮のもの」と書き入れている。

日本内務省は全国的な地籍調査に関連して島根県で提起された「竹島とその他の一島」について五カ月間検討し、その結果を太政官に報告した。

右大臣(太政大臣代理)の岩倉具視はこれに基づいて三月二〇日、「竹島(鬱陵島)とその他の一島(松島、独島)は本邦(日本)と関係のないものと知るべき」という指令文を作成して内務省と島根県に下達した。

このように独島は、日本の歴代政府が数回にわたって朝鮮領有権を公式に認めた朝鮮固有の領土であったし、日本は国際的に朝鮮の独島領有権を公式に認めた最初の国家であった。

一九〇五年二月のいわゆる独島の「島根県編入」は、全的に日帝の朝鮮占領政策による詐欺、謀略の所産であった。

一九〇五年一月二十八日、強盗さながらの日本内閣の決定に従って島根県庁は二月三日付の「島根県告示」第40号なるものをつくり上げて「北緯37度9分30秒、東経131度55分、隠岐島から西北85マイルにある島嶼を竹島と称し、今日から本県所属隠岐島司の所管と定めた」と「公布」した。

「島根県告示」第40号は、告示の手順と通知方法において詐欺と欺瞞で一貫している偽りの文書である。

日本は「独島編入」に関連して、隣接国である李朝政府は言うまでもなく、どの国とも事前の協議はおろか、事後通報もしなかつたし、告示自体も単なる地方官報である県報に掲載し、地方新聞である『山陰新聞』に小さく報じただけであ

熊は普通の熊ではなく、人間の言葉を解し、人間の言葉を話した。百姓は言った。

「わしが家にいたとき、米と豆、魚や肉を食べ、絹と麻と木綿の服を着たものだ。春と夏の服装は違い、夜眠るときは布団を敷いた。生きたまま動物を食べることはせず、かならず蒸したり炊いたり



朝鮮百鬼夜行抄

第五十五話 異界の獣

朴 珣 愛

する鍋もあった。そのまま食べる事はなく、包丁で細かく切ってから塩や醤油で味付けもした。

今、こんなにも物が無いから、わしは病気になるって死んでしまふに違いない。どうかお願いだ。生きたままここから出しておくれ。この洞窟で干からびて死にたくないんだ」

すると熊は、それからは麓に下りて行き、豆と米、酒麴や醤油の甕を盗んでは、人間の女のようにそれらを頭に載せて帰ってきたり、馬のように背中に乗せて帰ってきたりした。木綿や絹の服、絹の布団、鍋に器と持っていない物はなかった。

その内、洞窟の中は物であふれ、まるで金持ちの居室のようになっていった。熊は鹿、豚、ノロ、兎を捕まえては運び込み、時には家畜を盗んでくることもあったので、毎日が腹いっぱいだった。ただ、包丁のような鋭利なものは絶対に持っていない。

百姓はそのまま洞窟に住み、熊を妻に娶った。百姓は飢えと寒さに苦しめられる事はなく、そればかりか金を盗んでこ

る。

狡猾な日本は、「島根県編入」の一年後である一九〇六年三月二十八日、すなわち「乙巳五条約」を捏造して朝鮮を植民地化してから四カ月が過ぎた後、独島強奪についてどの国も抗弁していない時期を選んで地方官吏である隠岐島司一行を送って独島を視察させ、帰り道に鬱陵郡守の沈興沢に「独島が日本領地になったので、視察のため島に来た」ことを知らせた。

これについて李朝政府が日本政府に公式に抗議できなかったのは、日本に外交権を奪われたからであり、列強が異論を提起できなかったのも、日本の独島編入について全く知らなかったためである。

「島根県告示」が不法、無効の偽文書であるというのは、戦後、日本の領土処理を規定した「カイロ宣言」(一九四三年十二月一日)と「ポツダム宣言」(一九四五年七月二十六日)など、国際協約で独島を日本が放棄すべき対象と規定し、朝鮮の領土にしたことから良く分かる。

ここに、日本の反動層が「サンフランシスコ対日单独講和条約」(一九五一年九月八日)で独島が日本の領土放棄部門から落ちていくことを根拠に、国際社会が独島の日本領有権を認めたものであると主張するのは、それこそ言語道断である。

独島問題は領土紛争の問題ではない。歴史的にも国際法的にも朝鮮の独島領有権には疑いの余地がなく、未解明問題な

ど何もない。

日本が「独島領有権」主張を通じて狙う目的は、独島水域の豊かな水産資源と無尽蔵な海底資源を掌握して経済的利権を独占し、ひいては自国の領土野望、再侵略の企図を実現するための前哨基地、軍事的橋頭堡を手に入れるところにある。軍国主義の野望に浮ついた日本の反動層は、海外侵略の第一の対象としてわが国に目星をつけており、朝鮮を足場にして大陸へ進出し、またもやアジアを制覇しようと夢見ている。過去、植民地支配の犯罪的歴史に対するわい曲と執着のような過去の清算の拒否などに上塗りされたこの破廉恥な「独島領有権」の主張も、再侵略の野望を実現するための挑発行為であり、朝鮮民族の尊厳と主権に対する重大な侵害行為である。

日本の反動層はこのため、独島問題をもって日本人民と育ちゆく次代に朝鮮民族べっ視と大和民族の「優越感」、軍国主義の思想を吹き込み、それを日本の右傾化、軍国化に効果的に利用しようとしている。

日本の反動層は、時代錯誤の妄想から脱して破廉恥な「独島領有権」主張と「竹島(独島)の日」制定条例案を直ちに撤回すべきであり、日帝の敗北六〇年になる今年に必ず罪悪の過去一〇〇年史を総決算しようとする朝鮮民族の確固たる意志をはっきり認識し、整拳妄動してはならない。

統一評論二〇〇五年五月号 目次

〈分析〉ライス國務長官のアジア歴訪から見えたアメリカという国……………	梁明哲……………10
〈分析〉北の「軍縮会議」提案と今後の展望……………	金ソウオン……………18
―北・外務省スポークスマン談話に読めるもの―	
〈核問題・六者会談に関する北の主張〉	
■談話・六者会談は軍縮会議になるべき……………	北・外務省……………25
■インタビュー・アメリカとの対等な対話を要求する……………	韓成烈……………27
〈時事解説〉暴かれたアメリカの情報操作……………	李東琦……………30
〈論調紹介〉日本の「対北制裁論」と韓半島……………	李俊揆……………33
〈分析〉破綻しているブッシュ政権の外交政策……………	鮮于学源……………36
〈「今」を刻む人びと〉	
統一なくして平和はない……………	金ヒョンジョン……………39
日本の安保理常任理事国入りに反対する署名運動……………	チヨン・デヨン……………43
なぜ日本当局者の妄言は繰り返されるのか……………	韓桂玉……………46
―日本当局者の過去隠蔽・美化の妄言録集―	
■強制連行・強制労働犠牲者を考える第二回北海道シンポジウム	
光復六〇年・忘れざる記憶……………	蔡鴻哲……………56
ボタンのかけ違い・過去の歴史を正すこと……………	朴鐘進……………66
◎紀行記◎二〇〇五年三月のピョンヤンを訪れて……………	水谷研次……………70
◎手記◎二〇〇五年「核」、そして「パン工場」……………	朴吉相……………82
〈記録〉高まる支援運動・日誌／その他……………	整理・編集部……………86
○独島は朝鮮の固有の領土……………	北・社会科学学院……………90
朝鮮百鬼夜行抄 第五十五話「異界の獣」……………	朴珣愛……………93
◇朝鮮民譚◇新編・天之日矛小伝(中)……………	朴飛雲……………97

●民族和解のかけ橋：ウ・イル/キム・イルウ
独島切手、企業家が資金支援
南北の女子ボクシングチャンピオン 84

●HP : <http://www.tongilpyongron.com>
●E-mail : infotpy@hotmail.com